

税金にはどんな種類があって、 どのように納められているのでしょうか。

税金には様々な種類があり、私たちは社会で暮らしていく中で、いろいろな場面において税金を納めています。

		直接税 (税を負担する人が直接納める税)	間接税 (税を負担する人とそれを納める人が異なる税)
国 税		所得税 法人税 相続税 贈与税など	消費税 酒税 印紙税 自動車重量税など
地方税	道府県税	県民税 事業税 自動車税など	地方消費税 県たばこ税 ゴルフ場利用税など
	市町村税	市町村民税 固定資産税 軽自動車税 事業所税など	入湯税 市町村たばこ税など

もっと詳しく



国税庁HP



税金の公平性

所得税などは、所得が多くなればなるほど高い税率を適用する累進課税の方法が採られています。消費税などは、所得に関係なく、同じ税率を適用して税金を負担しています。この場合、所得の低い人ほど所得に占める税負担の割合が高くなる傾向（逆進性）があります。税金は複数の税金を組み合わせ、国民の間で公平に負担されることが求められます。

納税の方法は、税金の種類や立場によって異なります。

